

## 第2回 フィンランド語の発音

教科書の該当ページ：2ページ～6ページ

### 発音と綴り

フィンランド語の発音は、ほぼ綴りと一対一に対応しています。  
以下、[ ]の前が綴り字、[ ]の中は発音記号を表わしています。

### 母音：8個あります

- i[i], e[e], o[o]は、日本語のイ、エ、オとほぼ同じ発音です。
- u[u]は、日本語の標準語のウとは異なり、唇を丸めて発音します。
- a[a]は、日本語のアよりもやや口の奥寄りで発音します。
- ä[ä]は、a[a]よりも口の前寄りで発音されます。英語の cat の母音に近い音です。
- y[y]は、日本語にも英語にもない音です(ただし、ドイツ語、フランス語などにはあります)。日本語のイの発音をしながら唇を丸めていくと、この母音の発音になります。
- ö[ø]は、日本語にも英語にもない音です(ただし、ドイツ語、フランス語などにはあります)。日本語のエの発音をしながら唇を丸めていくと、この母音の発音になります。
- **母音には長短の区別があります。**長母音は母音字を2つ重ねて表わします。

### 子音：13個あります

- p[p], t[t], d[d], k[k], m[m], n[n], n(k)[ŋ], v[v], s[s], l[l], h[h], j[j]は、日本語や英語にある音とほぼ同じ発音です。
- r[r]は舌先を震わせて発音します。l[l]と r[r]の発音の違いに注意しましょう。
- 以上のほか、外来語では b[b], g[g], f[f], š[ʃ]も使われます。
- **一部の子音には長短の区別があります。**長子音は、pp, tt, kk, mm, nn, ss, ll, rr のように、子音字を2つ重ねて表わします。発音はローマ字とほぼ同じです。

### アクセント：強弱アクセントがあります

- アクセントはどの単語でも最初の音節にあります。
- アクセントの位置が固定しているため、アクセントに単語を弁別する機能はありません。

発音を練習してみましょう → 教科書6ページ

- (1) Tuo lipas torille ja tuoli pastorille.
- (2) Höyhen löytyi yöllä työpöydältä.
- (3) Lääkäri määräsi väärää päänsärkylääkettä.